

和歌山での成長

李 娜

教育学部 日本語・日本語文化研修留学生 中国

2014年9月24日、上海から出発して、2時間が経って広い関西国際空港に降りた私、日本の地面を自らの足でしっかり踏みしめたとき、ハラハラした気持ちがやっと落ち着いた。夕焼けはずいぶんきれいだった。それを見ながら日本での生活がすぐに現実になると考えると、自分の嬉しい気持ちを抑えられなかった。人生で一番忘れられない事は「初めてのこと」といわれたことだ。わたしにとって数えきれないほど人生の「初めて」は和歌山で感じたことである。



中国で流行った「この広い世界を自分の目で見てみたい」という文を見て共感が湧いてきた。日本に来る以前に、私は観光地である実家の近くのところさえ訪れていなかった。「旅行に行きたくて行きたくて」はただのスローガンだった。時間もないし、お金もないし、道はよくわからない等全部言い訳にして、どうしようもない生活を送っていた。それに対して、和歌山で出会った日本人の友達

はゴロゴロする時間はほとんどなく、勉強やアルバイトや旅行などで充実した毎日を送っている。これまでの大学二年間を無駄にしたと感じて残念でたまらない。このことをきっかけに私の価値観も変わった。人の命は短いから、生きがいのある精緻な生活を過ごすのは大事だ。だから、この一年をはじめとして勉強と遊びをバランスよく生きがいのある生活を送っていききたい。

アルバイトをしなければ、完璧な留學生活とは言えない。5月に入って、レストランで働き始めた。このアルバイトを通して、私は日本人の生活に一歩近づいたような気がした。意外に同僚だけではなく、店長も敬語で話してくれた。お客さんから「ありがとう」「すみません」という返事をよく聞く。アルバイト以外の時間に、彼らにカラオケに誘ってもらったり、食事に誘ってもらったり、一緒に旅行に行ったりした。私の生活を豊かにしてくれた。中国人という理由から差別されたりすることは全くなくて、完全に私を仲間に加えてくれた。



実は日本に来る以前に日本人に好かれるかどうかはちょっと心配だった。なぜかという
と、たまにテレビを付けたら、中国の新聞を読むと日本に関するニュースではよくない面
だけが強調されていた。日本人がテレビで放送されていたのと同じようだったらどうしよ
うと思った。今振り返ってみると自分がおかしいと思う。でも、同じように残念なことは
日本のテレビをつけるときも中国の悪いところばかり流れている。マスメディアが事実を
報道する一方、意識的あるいは無意識的に視聴者の関心を引きつけやすい悪い面だけを強
調する傾向があるらしい。中国人も日本人も大体マスメディアから情報を通じてイメージ
する。それは両国の人々の交流の障害になるひとつの原因ではないかと私は考える。これ
からどうなるのか分からないけど、私は、そのような誤解をなくしたいと思っている。帰
国した後は中国の身近な人々に日本人のすばらしさを伝えたい。



自分の成長は自分が一番分かっている。
一人っ子として甘やかされて育った私、
親の保護の下で生活してきた私は今、両
親と離れても生活ができるし、自分ひと
りで何処に行っても落ち着けるし、プロ
のコックのような自炊生活にもずいぶん
なれた。夜になったら絶対出かけないむ
かしの私と「さようなら」、今は雨が降っ
ても雷が鳴っても夜道は大丈夫な私は心
から自分が大人だと信じ込んでいる。和
歌山に来た後、これらのことを経験でき

て、成長できて、今の自分に満足している。

収穫の多い一年間であると同時に、感慨の深い一年間でもあった。人生は一期一会と言
って人と人の縁が結ばればそれは人生の宝だ。美しい海と山、やさしい人々、おもてな
し文化の和歌山でのいろいろな出来事を思い出すたびに、日本が私の第二の母国だとい
う気がする。一年の留学生活に満足していると同時に日本に対する熱い感情で今は胸がい
っぱいだ。

在和歌山的成长

李娜

2014年9月24日，我从上海出发经过两个小时到达了关西国际机场，我能实实在在踏上日本的土地的时候终于不再紧张。到的时候还是傍晚，夕阳西下特别的美。我呆呆的看着夕阳，一想到在日本生活马上就要变成现实了，就忍不住的咧开了嘴。常常听人说，人生最难忘的事情就是第一次做的事，在和歌山我经历了好多好多人生第一次。

国内很流行的一句话是“世界这么大，我想出去看看”，我看到这句话时候特别有感慨。来日本之前，我都没有好好的把青岛逛遍，尽管它是旅游胜地。我一直喊着要去旅游啊要出去玩啊，结果都给自己找了各种各样的理由。“没有钱啊，没有时间啊，我是路痴啊”就这样得过且过。跟我完全不同，我在和歌山交的日本朋友们像我一样无所事事的时间几乎没有，他们总是要么在学习要么在工作还有就是去旅游了。这样的充实的生活真好，觉得以前的两年大学白白浪费了。也因为如此，我的价值观也发生了变化，人活着的时间是很短的，重要的是活的有价值活的够精彩。我要以这留学的一年为例，好好的分配学习和玩耍的比例，好好的生活。

不打工的留学生的生活不能称得上完美。五月份之后我开始在餐厅打工。因此我觉得自己离日本人男人的生活又近了一步。我觉得意外的是不仅是同事甚至店长也对我用敬语讲话。甚至客人也是，常常说“不好意思啊”，“谢谢你啊”之类的。不打工的时候，店里的朋友就会邀请我去唱歌，一起去吃个饭，一起旅游什么的，我的生活也变得特别丰富多彩。他们从不因为我是中国人就对我区别待遇，完全把我当成他们的好朋友。

实际上在来日本之前我还特别担心日本人会不会不喜欢我，因为在国内有的时候打开电视翻翻报纸就会发现很多关于日本不好的事情，要是在日本中国不好的事情总被播放该怎么办呢，现在想想还挺好玩的。但是虽然有点遗憾，日本电视节目上确实常常播中国的不好的一面。可能媒体在播节目或叙述的时候，会有意无意的强调容易吸引观众的不好的一面，但民众就是从这种大众媒体上获取信息，了解别的国家，可能这也是交流障碍的一个原因吧。接下来媒体会怎么改变我不得而知，但是我回国以后，会尽我能做的一切，向自己身边的人传达日本的好，让他们更好地了解日本。

自己是最了解自己成长的。我是一个独生子，在爸爸妈妈的庇护下长大，甚至还有一点溺爱。可是我现在离开爸妈也能很好的生活，不管一个人去哪也不害怕，也习惯了自己做饭自给自足的生活，而且饭做的很赞，快像个专业厨师一样了。以前只要天黑我就绝对不出门，现在跟那会的自己说拜拜了，外面就算打着雷下着雨我也一点都不怕。从心里我就觉得自己是个成年人了。这些成长都是和歌山带给我的，我非常满足。

这是收获的一年同时也是感慨的一年，人生中相遇相知只有一次，用这次机会结下缘分这就是人生的宝贵财富。想到和歌山美丽的山和海，亲切的人们还有尽心尽力招待别人的文化，想到各种经历过的事情，真的觉得日本是我的第二个祖国。一年的留学生活得到满足的同时，对日本的热爱也添了好多好多。